

# 班回覧



学校教育目標

「学びあい 互いに認め合う

川西っ子の育成」

由布市立川西小学校

令和7年2月13日 第17号

(文責：校長 甲斐 浩司)



## よりよい人間関係を ～人権集会～

1月22日、「一人ひとりが身近な人権について考え、日ごろの言動を振り返る場とする」、「身近な人々とよりよい人間関係を築こうとする態度を育てる」ことをねらい、人権集会を行いました。始めに運営委員会による劇「教えて！なかよし名人さん」を見ました。「うわさ話」や「決めつけ」から起きた友達関係のもつれを、どうすれば防げるのか考えていく内容です。子どもたちは驚いたり、笑ったりと、劇を見ながら「どうすればいいのか」を考えました。感想では「こんなことが起きたら、劇の解決方法でやればいいと分かった。」「どうすればいいか考えて、最後はみんな笑顔になったから、すごい。」などが出されました。「相手の気持ち、状況を考えて言葉かけの大切さ」、「誤解が生まれても、気になることはすぐに聞くことの大切さ」等にも気づくことができた時間でした。ここで学びをぜひ実践し、みんなが気持ちよく過ごすことができる川西小学校にしてほしいと思いました。運営委員会の皆さん、ありがとうございました。



て！なかよし名人さん」を見ました。「うわさ話」や「決めつけ」から起きた友達関係のもつれを、どうすれば防げるのか考えていく内容です。子どもたちは驚いたり、笑ったりと、劇を見ながら「どうすればいいのか」を考えました。感想では「こんなことが起きたら、劇の解決方法でやればいいと分かった。」「どうすればいいか考えて、最後はみんな笑顔になったから、すごい。」などが出されました。「相手の気持ち、状況を考えて言葉かけの大切さ」、「誤解が生まれても、気になることはすぐに聞くことの大切さ」等にも気づくことができた時間でした。ここで学びをぜひ実践し、みんなが気持ちよく過ごすことができる川西小学校にしてほしいと思いました。運営委員会の皆さん、ありがとうございました。

## チャレンジしよう ～まとめ、次の学年への準備～

3学期は「まとめの学期、次の学年の準備の学期」です。始業式で「2学期アンケート」の結果を児童に知らせました。「よくできた」「できた」の肯定的回答が多かったものは左図Aの4つです。1位は10人全員が肯定的回答でした。2位が9人、4位が8人となっています。これについては、みんなよく頑張っていること、3学期も続けてほしいことなどを伝えました。

### A よくできた、できたこと

- 1い 計算やかん字の読み書き
- 2い まい日進んで家てい学習
- 2い 地いきの行事などにさんか
- 4い 学んだことをつかい問たいをとく

肯定的な回答が少なかったものが、右図Bの4つです。1位は5人、3位は4人の児童が「あまりできなかった」「できなかった」と回答していました。そこで、年度当初から児童に伝えている「やってみよう」、「ありがとう」、「なんとかなる」、「自分らしく」のどれで取り組むことができるかを説明し、これから一人でも、一段階でも肯定的な回答が増えるよう、目標を決め、取り組んでほしいと伝えました。

### B

#### あまりできなかった、できなかったこと

- 1い 自分で考え、よりよい発言や行動をする
- 1い 友だちの考えを聞き、考えを広げる、深める。
- 3い おたがいのことをよく知る
- 3い 自分をみとめてくれる人がいる

### A 友だちといっしょに遊んだり、べん強したりすることは楽しい

#### 《遊び》

- ①みんないっしょに、けんかをしないで遊んだら楽しい。
- ②遊びのルールをまもり、だれもおこっていない。
- ③友だちに声をかけて遊ぶ。
- ④いろんなゲームを探して、みんなでやる。

## 「どうなったら、どうしたら」楽しい？認められている？

アンケートには「友達と一緒に遊んだり勉強したりすることは楽しい」や「自分や友達のよいところを知っている」、「学校には自分を認めてくれる人がいる」等、肯定的回答が微減、微増したものもあります。「どうなったら、どうしたら肯定的な回答になるのか」児童にも考えてもらう、一人ひとりの考えを把握するために記述式アンケートを行いました。その結果を1月29日の児童集会で伝えました。「友達と一緒に遊んだり勉強したりすることは楽しい」については左図A、裏面左図B、2つが主な内容でした。「けんかをし

り勉強したりすることは楽しい」については左図A、裏面左図B、2つが主な内容でした。「けんかをし

**B** 友だちといっしょに遊んだり、  
べん強したりすることは楽しい  
《べん強》

- ①みんなで意見を言って、楽しく勉強する。
  - ・⑦みんながい見をたくさん言う。
  - ・⑩い見を言う時間をふやす。
  - ・⑨つくえをつけて話す、をふやす。

②もうちょっとしんげんに考える。

「素敵なおところやよかったことを伝える」、「一緒に活動してすごいと思うことを伝える」、「話す」、「聞く」などが必要であると子どもたちは考えていました。「よい所見つけ」や「にこにこの木（全校よい所見つけ）」、「ぼかぼか言葉の木」などの取り組みとともに、授業や全校での活動の中

**D** 学校には  
自分をみとめてくれる人がいる

- ①べん強や運動をがんばったら、みとめてくれる人がふえる。
- ②自分ができていることをする。
- ③いっしょに遊ぶ。

- ⑧い見などにはく手をしてくれる。
- ⑨「すごいね」「同じです」と言ってもらうと、みとめてくれた気がする。

**E** 学校には  
自分をみとめてくれる人がいる

- ⑦友だちみんなとなかよくしている。
- ⑩人と自分へのたいおうが、同じくらいやさしい。
- ④友だちが「(自分の)すきなところ」を知っている。

ない」「ルールを守る」、「誘って遊ぶ」などが子どもたちのイメージするものです。「これができるとみんな楽しく遊べるんだね。できていないことがあれば、これから取り組んでみよう。」と伝えました。また「意見を言う」授業や具体的にあげられた「作文を書く」「体験学習」「ゲーム、クイズが入った学習」などは授業改善の必要があると考えています。

「自分や友達のよいところを知っている」については、右図Cが主な内容でした。「素敵なおところやよかったことを伝える」、「一緒に活動してすごいと思うことを伝える」、「話す」、「聞く」などが必要であると子どもたちは考えていました。「よい所見つけ」や「にこにこの木（全校よい所見つけ）」、「ぼかぼか言葉の木」などの取り組みとともに、授業や全校での活動の中でもそのような場面を意図的に仕組む必要があります。

「学校には自分を認めてくれる人がいる」については左図DEが主な内容でした。①②③は「自分ができていること」、⑧以降は「周りの対応、期待する状況」だと考えました。「紹介したことができたなら、したら、認められていると感じる人が増えそうだね。できることから取り組んでみよう。」と伝えました。最後に「一生懸命考えてくれてありがとう。」「こうなったらいいな、こうしたいを一人ひとりが考えてくれたことで、もっとよい川西小学校になる。」「自分が書いたものはぜひ取り組み、お知らせした中で、やってみようというものはチャレンジしてほしい。」ことなどを伝えました。集会後の感想では「できてなかったことがあったので、これからやって、もっと友達と仲良くなりたい。」「いいな、と思ったものがあったので、授業とかでやってみたい。」「みんなが守ることが大切だけど、自分も守ることが大切だと思う。」などがありました。「笑顔いっぱい川西小学校」に向け、全校で取り組みを進めていきます。

**C** 自分や友だちの  
よいところを知っている

- ①いっしょに遊び、べん強して、友だちにすごいと思うことをいう。
- ⑩あい手にすてきな所やよかったことをつたえる。
- ③すきなものを聞く。
- ⑦ふだんのようにすを見る。
- ⑨ぼかぼかタイムをもっとふやす。



### 野菜パワーで元気に過ごそう

1月29日、市給食センターより栄養教諭2名においでいただき、給食感謝の会を行いました。まずは体育保健委員会による「フードロス」についての劇です。その中のクイズで、市全体

で大小のおかずが1か月750kg廃棄されていること、川西小学校では8kgが廃棄されていることが紹介されました。給食は食材を育てる人、収穫・漁獲する人、献立を考える人、調理する人、学校に運ぶ人など多くの人に関わっています。温かい給食を食べられることに感謝しながら、これからも、「フードロス」を減らしていければと思います。また、栄養教諭のお二人からは「野菜のパワーを知ろう」という内容で、野菜あてクイズや野菜の3つの働きなどを教えていただきました。子どもたちは「劇を見て残すのはよくないと思ったし、体を強くすると分かったので、頑張ってお腹いっぱい食べてたい。」「野菜には3つのパワーがあると分かったので、苦手なものでも食べていきたい。」と感想を述べていました。最後に子どもたちからのメッセージを渡し、食事の様子も見ていただきました。自分達が食べている給食にかかわる方の「顔」を知ることができ、学びを一層生かしていけるのではと思いました。ご家庭でも、いろんな野菜を食べられるようにしていただければ幸いです。



◎3日間、登下校送迎や休校への対応をしていただき、大変ありがとうございました。